

## 県体育協会功労賞 受賞

7月1日

平成30年度公益財団法人奈良県体育協会功労者表彰が、ジェイテクトアリーナ奈良で行われ、福田順一さん（榛原）と小泉眞吾さん（菟田野）の2名の方が功労賞を受賞されました。

この賞は45歳以上の方で、20年以上スポーツの振興と奨励に努力され、特にその功績が顕著な方に贈られるものです。



◀右から  
小泉さん  
福田さん

## 少林寺拳法 奈良県大会で 最優秀賞 受賞

7月8日

ならでんアリーナ（奈良市中央体育館）において、「第69回奈良県民体育大会・2018年少林寺拳法奈良県大会」が開催されました。

当日は猛暑のなか、県下各支部の拳士が一同に集い、参加拳士全員が日頃の修練の成果を存分に発揮しました。少林寺拳法「大王クラブ」の拳士たちが最優秀賞受賞を含め各部門で見事入賞されましたので紹介します。

### 【大会結果】（敬称略・順不同）

#### 組演武

〔少年白帯の部〕 優良3位：中森佳世、森田莉子

〔少年黄帯の部〕 6位入賞：瀧岡千桜、大西あかり

〔少年緑帯の部〕 6位入賞：坊井奏汰、清須 壮

〔中学生段外の部〕 最優秀1位：大西晴斗、大西将太

#### 単独演武

〔中学生の部〕 優秀2位：赤松雄月



## 佛隆寺 彼岸花再生プロジェクト

6月10日

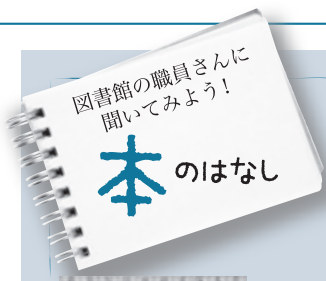
佛隆寺（榛原赤埴）において、「佛隆寺彼岸花再生プロジェクト」として、球根植栽のボランティアを募集したところ、30名の方が参加されました。

今年で、3年目を迎え、毎年県内を中心に多くの方々から、彼岸花の球根の寄贈をいただいております。昨年の秋には、獣害に遭う前の約7割程度まで、彼岸花が咲くまで復活できました。

参加者の中には、毎回このボランティアに参加されている方もおり、「以前のような深紅の絨毯に戻るのを楽しみにしています」との声もいただきました。

地元の方々やご協力いただいた多くの皆さんに感謝します。





図書館の職員さんに聞いてみよう!

# 本のはなし

話題の  
**新刊本!**



子どもへのまなざし

著: 佐々木正美  
出版: 福音館書店

子どもは人とふれあいながら育つことが大事。つぎの世代を生きる子どもたちを豊かに健やかに育てることは大人自身も自分を大切に生きること。児童精神科医が語る乳幼児期の育児の大切さ。

(中央図書館所蔵)



失敗図鑑  
~すごい人ほどダメだった!~

著 大野正人  
出版: 文響社

天才ゆえに死にかけたダリ、正直すぎて炎上した与謝野晶子…。世界に名を残した偉人たちの失敗と、彼らその失敗からどうやって復活したかを紹介する。「忘れる・遅れる・嘘をつく」子どもによくある失敗対策も掲載。

(中央図書館所蔵)

## 図書館からの まめ知識 Vol.53

8月31日は野菜の日です・・・  
『夏野菜、いくつ知ってる? いくついえるかなあ?』

夏に旬を迎える夏野菜は、今では輸入や栽培方法の進化で1年中お店に並ぶことが多いですが、やはり旬の時期に採れるものは、太陽の日差しをたっぷり浴びて、栄養価が高く美味しいですよ。夏野菜は、暑さでほてった体の体温を下げてくれる野菜が多いのが特徴。栄養素の面でも、むくみや高血圧に効果がある「カリウム」、疲労回復や日焼けによるメラニンの生成を抑える働きのあるビタミン類を多く含んでいる野菜が多いようです。暑い夏を乗り切るためにも夏野菜は有効ですね!

普段、何げなく調理しているいつもの野菜たち。ひと手間プラスの料理法で家族をビックリさせてみませんか。そんなあなたにピッタリの本があなたに利用してほしいと図書館で待っています!!

おはなし会やその他のお知らせは P25

## 室生小・室生中にて国際交流

7月12・13日

7月12日室生小学校に、中国逸夫(イーフー)小学校から9人の2年生と、ベルギーやノルウェーなど、9か国から訪日学生24人、13日には室生中学校に中国から44人の中学2年生が来訪され、国際交流を行いました。

この取り組みは、外国の若者に日本の魅力を知ってもらうと同時に、日本の児童生徒の国際理解を深めることを目的に行われています。

室生小では、訪日学生のお国柄の分かるクイズに挑戦したり、逸夫小の子どもたちのダンスや書を見せてもらいました。また全学年それぞれ工夫した授業に入ってもらい、交流を深めることができました。室生中では、3年生が英語と音楽の授業を一緒に受けました。授業の後は一緒に給食を食べ交流を深めました。始めは緊張していた様子ですが、慣れてくるとジェスチャーや簡単な英語を使ってコミュニケーションを図り、楽しいひと時を過ごしました。



英語の授業(室生中)



一緒に給食を食べました(室生小)

## 龍神の里シンポジウム

7月15日

龍神信仰の源流を探る～北半球と南半球をつなぐ龍脈～と題し、室生寺に「龍」にまつわる様々な方面の講師陣が勢ぞろいしました。龍神とのかかわりをテーマに、室生寺執事長の小田修史氏からは室生寺の創建について、室生地区の語り部堀本正彦氏からは、龍にまつわる室生の自然や伝説について、奈良県民俗文化研究所代表鹿谷勲氏からは、奈良県下の蛇信仰にかかわる民俗行事をお話いただきました。そしてニュージーランドからお招きしたワイタハ族長老デ・ポロハウ・ルカテコラコ氏からは、ワイタハ族が守り続ける龍神信仰について、歌や祈りとともに海を越えたメッセージを伝えていただきました。興味深い龍のお話に、満員御礼の会場の熱気は最高潮!また、講演会後の青龍会による迫力の演舞には万雷の拍手が送られました。

